紡ぐ
くらしの
情報誌

バリバリ通信

2023 SPRING
VOL.119

宇和文化と歴史の里

江戸時代には宇和街道の宿場町として栄えたという
約210mにわたる中町の町並み。

重要伝統的
建造物群保存地区

卯之町散策

愛媛県西予市宇和町

重要文化財 開明学校校舎

愛媛県西予市にある卯之町は、かつて宇和島藩の在郷町・宿場町として栄えた地域。江戸後期から昭和初期にかけて建てられた商家や旅館、造り酒屋などが立ち並ぶ一角は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

一八八二年（明治十五年）に建てられた小学校校舎『開明学校』は、日本の伝統的な白壁にアーチ型の窓を取り入れたモダンな建物で、窓には当時としては珍しい舶来のガラスが使用され、擬洋風の校舎を見ようと多くの見学者が訪れていたそうだ。現在は教育資料館として利用されており、明治から昭和初期にかけての教材などを収蔵・展示している。かつて算術の授業で使用していた巨大なそろばんや教科書代わりに使われていた掛図などもある。小さな木の机と椅子に腰かけて教壇に目をやると、教室の片隅には、絣の着物姿にわら草履を履いた男の子（オブジェ）がバケツを持って立たされていた。こうした遊び心のある仕掛けも楽しい。

この教室では当時の授業体験も可能（要予約）。まるで明治時代にタイムスリップしたような世界観を楽しめる。

敷地内にある『申義堂』は、明治二年に民間でつくられた郷校で、開明学校の前身となった。木造平屋建て、屋根は切妻桟瓦葺きで、十畳の座敷が教場に充てられている。講師の住居も兼ねていたようだ。開明学校が建てられたのち、その隣に申義堂を移築し校舎の一つとして継続利用されたという。

余談だが、中町通りのマンホールの蓋は『開明学校』をモチーフにしたデザインだった。こうしたちょっとした発見も町歩きの楽しみのひとつだろう。

細い路地に『高野長英の隠れ家』があった。もともと二階建てだったが、現在は二階部分のみを残して保存されている。幕府を批判したことで追われる立場となった高野長英は、卯之町で開業医をしていた二宮敬作に匿われていた時期がある。卯之町

当時の面影をのこす開明学校2階教室。

袴姿の先生による明治の授業体験。

開明学校モチーフのマンホール。

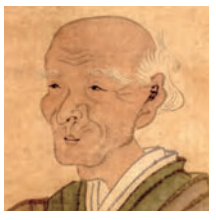
県指定文化財 高野長英の隠れ家。

卯之町の町家では、軒下に装飾が施された「ひじ」と呼ばれる持送り（庇を支える部材）が多くみられる。末光家住宅の「ひじ」は植物がモチーフ。

伝統的建築様式をのこす
市指定文化財 末光（すえみつ）家住宅。

四国ガス燃料
https://www.shikoku-gasnen.co.jp/

申義堂は開明学校最初の校舎となる


二宮敬作肖像画

宇和先哲記念館

を語る上で欠かすことができないのが、この二宮敬作という人物だ。

西宇和郡磯崎浦（現・八幡浜市保内町磯崎）で生まれた敬作は、十六歳で長崎に渡り、蘭語・蘭方医学を学び、ドイツ人医師シーボルトの鳴滝塾（なるたきじゅく）の門弟となる。しかし、一八二八年（文政十一年）シーボルト事件が起こり、シーボルトは国外退去、敬作も事件に関わった者として入牢のうえ、江戸立ち入り禁止、長崎から追放されてしまう。二十七歳で故郷に戻った敬作は、大洲で医業を開業、その後、宇和島藩主の命により卯之町に居を移した。情に厚く、貧しい人にも献身的な活動を行い人々に慕われたと伝わっている。そして、のちに敬作を頼って来たシーボルトの娘・イネを預かり、西洋医学の基礎を教えた人物でもある。

イネは、母からは「女が学問すれば不幸になる」と猛反対されながらも、父と同じ医師の道を志し、日本における産婦人科の発展に多大な影響を与える人物に成長した。シーボルトから娘の養育を託されていた敬作は立派にその約束を果たしたのだ。敬作とイネの交流は晩年まで続き、敬作の死後、イネは長崎の晧台寺（こうだいじ）に墓を建て、分髪を卯之町に送ったそうだ。

『宇和先哲（せんてつ）記念館』では、郷土出身の偉人たちの功績とともに、二宮敬作とイネの生涯や業績を紹介している。

高野長英、二宮敬作、楠本イネ、この偉人たちを結びつけたのは、宇和島藩主・伊達宗城（だてむねなり）である。高野長英を秘かに迎え、藩士に蘭学を学ばせ、翻訳や砲台設計を託した。イネはドイツ人と日本人の間に生まれたことで偏見に遭うが、産科医としての腕を認められ宗城から厚遇される。宇和島藩は学問に深い理解を示し、平等に教育に力を入れる土地柄といえるだろう。『申義堂』は、町民が私費を出し合って建てたものだ。そのことからも当時の人々の教育にかける熱い想い、志の高さを推察できる。

歴史に名を残す偉人たちの足跡を辿りながら、風情ある町並みを歩いてみよう。歴史的建築物の中に、小学校や幼稚園、教会、商店街などがあり、日常の暮らしが感じられるのもこの町の魅力。すれ違う子どもたちは皆、笑顔であいさつをしてくれた。地元への思いにあふれた人々がこの町の歴史と共に暮らしている。かつて、敬作やイネが歩いた通りは、昔の面影を残しながら、今も訪れる人を温かく迎えてくれている。

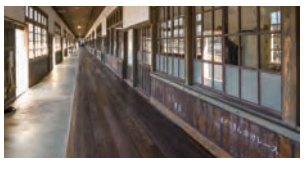
お立ち寄りSPOT

ehime waku waku spot

愛媛県歴史文化博物館

原始から近現代までの愛媛の歴史を様々な展示で紹介。県内の祭りで使用される山車や神輿、四国遍路に関する資料や、愛媛県の民俗を紹介するコーナーもある。特別展やテーマ展も要チェック。

愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2　TEL.0894-62-6222
9:00～17:30（入館は 17:00 まで）
月曜休館（祝日の場合は翌日）（毎月第１月曜は開館、翌火曜が休館）
駐車場あり（約 160 台）



宇和米博物館

昭和３年建築の旧校舎を移転し、109ｍの木造廊下を活かしたぞうきんがけレースが楽しめる。ワーキングスペースなどの貸出しも可。

愛媛県西予市宇和町卯之町 2-24　TEL.0894-62-6517
9:00～17:00（入館 16:30 まで）
月曜休館（祝日の場合は翌日）、駐車場あり（50 台）